

## 2019年度第1回経営協議会議事要録

- 1 日 時 2019年5月28日(火) 14:15~16:13
- 2 場 所 ホテルアークリッシュ 4階「ザ テラスA」
- 3 出席者 議長 大西学長  
鎌土委員, 谷口委員, 古野委員, 松井委員, 大貝委員, 寺嶋委員, 神野委員, 児島委員
- 4 欠席者 合田委員(委任状提出), 佐原委員(委任状提出)
- 5 列席者 佐藤監事, 牧監事, 石田特別顧問
- 6 議 題

### [審議事項]

- (1) 豊橋技術科学大学国際戦略2019について

### [報告事項]

- (1) 平成31(2019)年度年度計画の届出について
- (2) 大学機関別認証評価について
- (3) 平成30事業年度の決算状況について
- (4) 2019年度監事監査計画について
- (5) 2019事業年度長期借入金償還計画の認可について
- (6) 2019年度国立大学法人豊橋技術科学大学基金に関する事業計画等について
- (7) 外部資金受入状況及び科学研究費助成事業採択状況について
- (8) 経営協議会における意見等の大学運営への活用状況等について

### [その他事項]

- (1) 最近の国立大学法人をめぐる動向について
- (2) 豊橋技術科学大学関係新聞記事について

## 7 議 事

議事に先立ち、平成30(2018)年度第5回議事要録(案)について、原案のとおり確認された。

### [審議事項]

- (1) 豊橋技術科学大学国際戦略2019について

寺嶋理事から、資料「審議1」に基づき、豊橋技術科学大学国際戦略2019(案)について説明があり、審議の結果、次のとおり承認された。

- ・教育職員と事務職員の表記が統一されていないため、確認のうえ見直す。
- ・上記及びその他軽微な修正については、学長に一任とする。

主な説明は次のとおり。

- ・国際戦略2017の策定から2年が経過し、本学のグローバル化の進展を踏まえ見直しを行った。
- ・昨年度から、学内活動にSDGsを関連付けながら進めていこうと取り組んでおり、国際戦略にも記述を加えた。

また、本件については、同日開催の役員会に附議することが併せて確認された。

主な意見等は次のとおり。

- ・戦略を踏まえ、学生や教職員に与えた成果が可視化できるものとなれば、本学の高い評価に繋がるのではないかと。

### [報告事項]

- (1) 平成31(2019)年度年度計画の届出について

大貝理事から、資料「報告1」に基づき、平成31(2019)年度年度計画を3月28日付けで文部科学省へ届出を行ったことについて、報告があった。

- (2) 大学機関別認証評価について

大貝理事から、資料「報告2」に基づき、大学機関別認証評価の受審に向けた本学の対応状況等について報告があった。

主な意見等は次のとおり。（□意見等 ■回答等）

□学生の学習成果について、学修達成度をどのように評価しているか。

■自己評価書（素案）の70頁、分析項目6-8-3~5に記載のあるように、卒業・修了予定者アンケート、卒業・修了から一定年数経った者へのアンケート、就職先・進学先の企業等関係者からのアンケートを活用する。

□認証評価はあくまで認証なので、必要な基準を満たせばいいということか、必要以上に優れていても評価されることはないのか。

■特に優れた取組については公表が行われるが、基準を満たしているかの認証が大前提である。

□機関別認証評価で認証されない大学はほとんどない。現状4つの評価制度が併存しているが、認証評価自体は予算等に直接関係しておらず、モチベーションの維持が肝要となる。

(3) 平成30事業年度の決算状況について

学長から、資料「報告3」に基づき、平成30事業年度の決算状況について、報告があった。

主な説明は次のとおり。

- ・平成30事業年度決算の方向性を速報値として報告するもので、今後計算する消費税納付額を加味した金額が最終的な決算額となる。
- ・次回経営協議会において、6月末日までに文部科学大臣に提出する確定版の財務諸表等を審議いただく。

(4) 2019年度監事監査計画について

学長から、資料「報告4」に基づき、2019年度監事監査計画について、国立大学法人豊橋技術科学大学監事監査規程第6条の規定に基づき、監事により作成され、学長に提出された旨、報告があった。

また、佐藤監事及び牧監事から、2019年度重点監査事項について、説明があった。主な説明は次のとおり。

- ・監事の任期が残り1年余りとなり、これまでの重点事項を整理して、反映されていない事項を考慮し、重点事項に挙げている。
- ・昨年度重点事項に挙げたSDGsは今年度挙げていないが、監査の視点から除くわけではない。

(5) 2019事業年度長期借入金償還計画の認可について

大貝理事から、資料「報告5」に基づき、2019事業年度長期借入金償還計画（2008年度建設学生宿舎F棟に係る長期借入金）について、2019年4月16日付けで文部科学大臣から認可された旨、報告があった。

主な説明は次のとおり。

- ・借入先金融機関とは、当初借入後10年は金利固定で、10年経過後に合意の上金利の見直しを行う契約を交わしていた。
- ・借入から10年が経過し、借入先金融機関と協議の上、今年度から5年間の金利を従来の年1.45%から年0.18%に見直しを行った。

(6) 2019年度国立大学法人豊橋技術科学大学基金に関する事業計画等について

学長及び大貝理事から、資料「報告6」に基づき、国立大学法人豊橋技術科学大学基金における2018年度決算及び2019年度事業計画等について、報告があった。

主な説明は次のとおり。

- ・支出について、教育研究支援基金からのみ、2018年度は課外活動施設用倉庫、トレーニングジムの増設及び硬式野球部のバッティングマシンに約2千万円を充当しており、今年度においては弓道場の整備に2千万円を充てる予定としている。

- ・寄附受入の増に向けて、今年に入り、通常寄附に加え、毎月あるいは一定月に一定額がクレジットカード支払で寄附される「継続寄附」の機能を加えた。また、ホームページ及びパンフレットを整備し、学内周知するとともに、卒業式や事務系職員のOB会等のイベントでパンフレットを配布し、寄附を呼び掛けた。
- ・寄附受入額については、30周年、40周年事業時に1億円を受け入れたことから、10年間で平準化し、まずは毎年1,000万円の受入を目指したい。
- ・卒業生に対し、本学への帰属意識を醸成し、貢献意欲向上を図るため、今年度、卒業生連携室ポータルサイトを設置するとともに、第1回目のホームカミングデーの開催を検討しており、同窓会と連携し、開催日を調整している。

主な意見等は次のとおり。

- ・ホームカミングデー等で、修学支援を受けた学生の喜びの声をアピールしてはどうか。

(7) 外部資金受入状況及び科学研究費助成事業採択状況について

寺嶋理事から、資料「報告7」に基づき、2014年度から2018年度までの外部資金受入状況及び科学研究費助成事業採択状況についての報告があり、併せて2019年度科学研究費助成事業の現時点での交付内定状況について、報告があった。

(8) 経営協議会における意見等の大学運営への活用状況等について

学長から、資料「報告8」に基づき、経営協議会の意見等の大学運営等への活用状況について、報告があった。

なお、本学公式ホームページによる活用状況の公開について、2017年度までの活用状況に加え、2018年度分を追加して公開する旨、併せて説明があった。

[その他事項]

(1) 最近の国立大学法人をめぐる動向について

学長から、資料「その他1」に基づき、国立大学をめぐる最近の動向について、説明があった。

併せて、大貝理事から本学のハラスメント防止体制について、説明があった。

主な意見等は次のとおり。

- ・施設整備に関連して、大学各棟のサインが退色しているため、再塗装した方がよいのではないか。

(2) 豊橋技術科学大学関係新聞記事等について

学長から、資料「その他2」に基づき、2019年3月17日から2019年5月21日までの本学関係新聞記事について、説明があった。

以 上